

一般財団法人 同友会
藤沢湘南台病院
藤沢ケアセンター
藤沢訪問看護ステーション
居宅介護支援センター
長後いきいきサポートセンター
ライフメディカルフィットネス
ライフメディカル健診プラザ

一般財団法人 同友会「法人目標」

- 24時間、迅速急性期医療と専門性を持つ医療の充実
- 医療、保健、福祉における包括サービスの提供
- 地域コミュニティ形成を目指す健康増進の推進
- すべての職種に対する医療者としての教育、研修の場の確立

藤沢湘南台病院「病院理念」

- 信頼とやすらぎのある医療
- 専門性と倫理観のある医療
- 地域に貢献する医療



私たち、「藤沢湘南台病院 皮膚科スタッフ」です

2008年より皮膚科専門の医師が常勤となり近隣の皆さまの皮膚に関するトラブルやお悩み幅広く対応しています。現在は常勤医2名体制で男性・女性医師ともに在籍しており、月曜日から土曜日までの午前中に外来診療を行っています。

平日午後は外来手術や処置などの予約制診療で、とくに火曜日午後には皮膚悪性腫瘍切除術や植皮術など幅広く対応して手術を施行しております。

取り扱い疾患としては皮膚疾患全般(アトピー性皮膚炎などの湿疹・皮膚炎群、蕁麻疹、乾癬、薬疹、水疱症、膠原病、皮膚腫瘍、皮膚潰瘍、皮膚感染症など)で保険診療を中心に力を注いでいます。

疾患は多岐に渡りますが詳細な問診と必要な検査(顕微鏡検査、ダーモスコピー、微生物学的検査、病理組織学的検査など)を行い、症状の改善・コントロールを目標として診療しています。とくに蜂窩織炎や帯状疱疹などの感染症、水疱症、重症の薬疹、重症のアトピー性皮膚炎などは必要であれば入院加療をお薦めしています。

乾癬の生物学的製剤(次ページ参照)導入や皮膚悪性腫瘍の集学的治療などに関しては関連病院(藤沢市民病院、横浜市立大学附属病院など)と連携をとっております。

一般的に皮膚疾患は軽症のものが多く軽視されがちですが、慢性的に経過して治りにくく病変が目に見えるために悩みを抱える方が多いのも特徴です。些細なことでも構いませんので気になることがありましたら気軽に相談してください。

近隣開業医の先生方とも病診連携をとり一人ひとりに合わせた医療を心掛けます。スタッフ一同どうぞよろしくお願いたします。

外来診療予定表

医師の異動により変更になる場合があります

□ = 完全予約制

● = 休診

令和4年4月1日現在

		月	火	水	木	金	土
内科	新患・予約外	松田 吉光寺	乾 大野(睦) 鈴木(陽)	堀 大野(哲)	高木 福島 中村(悠)	中村(裕) 上村	消化器科担当医 循環器担当医
	消化器科 [予約のみ]	乾 大野(睦)	杉本	山本 大野(悠)	松田 乾	大野	●
	循環器科 [予約のみ]	大野(睦)	●	●	●	●	吉光寺(第1週) 大野(第2・4週) 福島(第3週)
	総合診療科 [予約のみ]	藤井	藤井	●	●	片岡	●
外科	一般外科	井上	深野 熊切院長	田村	深野 山本名誉院長	藤川	担当医
	大腸肛門科 [予約のみ]	鈴木総院長 五代	鈴木総院長	鈴木総院長	鈴木紳祐	鈴木総院長	担当医
	呼吸器外科	●	熊切院長	●	●	●	●
	甲状腺 心臓血管外科 乳腺外科	●	●	●	山崎(心臓血管外科) 清水(乳腺外科)	佐々木(甲状腺外来)	●
整形外科	一般外科	畑山 立石	藤川 鈴木(創)	(手術)	(手術)	●	●
	大腸肛門科	●	●	●	●	田中(良) (第2・4週のみ)	●
	呼吸器外科	熊切院長	●	●	●	●	●
	心臓血管外科	●	●	●	山崎	●	●
脳神経科	午前	●	●	市川	田中(貴)	関	●
	午後	●	関	田中(貴)	●	●	●

		月	火	水	木	金	土
泌尿器科	午前	担当医 (10:00迄)	大内	横溝 日置 仁禮	大内 日置 謙訪	横溝 仁禮 日置(第2・4週)	大内(第1・3・5週) 横溝(第2・4週)
	午後	(検査)	大内 横溝 仁禮	横溝	大内 日置	(検査) (手術)	●
眼科	午前	田中(雅)	佐藤	永野 田中(雅)	佐藤 担当医	佐藤 田中(雅) (第2・4週)	担当医
	午後	永野 田中(雅) 佐藤	田中(雅) 佐藤	永野 田中(雅) (第1・3週)	永野 (第2・4週) 佐藤	永野 (第1・3・4・5週) 田中(雅) 佐藤	●
整形外科	午前	小柳 川口 宮田	加藤 井窪 栗本	大山 黒田 井窪	大山 小柳 加藤 宮田 亀田	黒田 宮田	担当医
	午後	小柳 宮田	●	黒田 井窪	加藤	●	●
健康スポーツ部	午前	●	福田 川口	●	小柳 斉藤	福田 川口	●
	午後	●	福田	●	高尾	福田 川口	●
皮膚科	午前	磯田 浦野	磯田 浦野	磯田 浦野	磯田 浦野	磯田 浦野	磯田 (第1・3週) 浦野 (第2・4週) ※第5週 休診
	午後	磯田	磯田 浦野	浦野	浦野	磯田	●
形成外科	午前	篠木	室田	篠木	(手術)	篠木	●
	午後	(手術)	●	(専門外来)	前川 (手術)	●	●

※内科新患・予約外の患者様は、外来担当表のとおりのため医師の指定は出来ません。

※消化器科・循環器科・外科・整形外科・泌尿器科(午後)・総合診療科(午前、午後)は、専門外来(完全予約制)となりますので一般外来は休診となります。

受付時間	月～金	午前	8:30～11:00 ▶ 診療開始 / 午前 9:00～
		午後	12:00～3:00 ▶ 診療開始 / 午後 1:30～
土	午前	8:30～11:00 ▶ 診療開始 / 午前 9:00～	
	(全科休診) 土曜日午後 / 日・祝祭日 / 年末年始		

● ご不明な事がありましたら医事課窓口にお問合せ下さい。

無料シャトルバス時刻表 (巡回マイクロバス)

令和4年4月1日現在

平日					
長後駅・湘南台駅方面 綾瀬市上土棚方面行きでも長後駅で乗降可。					
藤沢湘南台病院	長後駅東口	湘南台駅東口	藤沢湘南台病院	7:45	7:50
藤沢湘南台病院	7:45	長後駅から病院へ直行	7:50	●	●
藤沢湘南台病院	8:05	長後駅から病院へ直行	8:10	●	●
藤沢湘南台病院	9:45	9:50	9:55	10:05	●
藤沢湘南台病院	10:30	10:35	10:40	10:40	●
藤沢湘南台病院	11:00	11:05	11:10	11:20	●
藤沢湘南台病院	14:00	14:05	14:10	14:20	●
藤沢湘南台病院	14:35	14:40	14:45	14:45	●
綾瀬市上土棚方面					
藤沢湘南台病院	長後駅東口	上土棚団地前	長後駅東口	藤沢湘南台病院	8:20
藤沢湘南台病院	8:20	8:25	8:35	8:48	8:53
藤沢湘南台病院	12:35	12:40	12:53	13:06	13:11
上飯田・いちよう団地方面 上飯田・いちよう団地を經由し、下和田から国道467号線に出て病院へ。					
藤沢湘南台病院	団地入口	いちよう団地	集会所前	下和田	藤沢湘南台病院
藤沢湘南台病院	9:05	9:10	9:14	9:19	9:23
藤沢湘南台病院	13:20	13:25	13:29	13:34	13:38
藤沢湘南台病院	14:55	15:00	15:04	15:09	●

土曜日					
長後駅・湘南台駅方面 綾瀬市上土棚方面行きでも長後駅で乗降可。					
藤沢湘南台病院	長後駅東口	湘南台駅東口	藤沢湘南台病院	7:45	7:50
藤沢湘南台病院	7:45	長後駅から病院へ直行	7:50	●	●
藤沢湘南台病院	8:05	長後駅から病院へ直行	8:10	●	●
藤沢湘南台病院	9:45	9:50	9:55	10:05	●
藤沢湘南台病院	10:30	10:35	10:40	10:40	●
藤沢湘南台病院	10:50	10:55	11:00	11:00	●
藤沢湘南台病院	12:20	12:25	12:30	12:40	●
藤沢湘南台病院	14:25	14:30	●	●	●
綾瀬市上土棚方面					
藤沢湘南台病院	長後駅東口	上土棚団地前	長後駅東口	藤沢湘南台病院	8:20
藤沢湘南台病院	8:20	8:25	8:35	8:48	8:53
藤沢湘南台病院	13:40	13:45	13:58	14:11	14:16
上飯田・いちよう団地方面 上飯田・いちよう団地を經由し、下和田から国道467号線に出て病院へ。					
藤沢湘南台病院	団地入口	いちよう団地	集会所前	下和田	藤沢湘南台病院
藤沢湘南台病院	9:05	9:10	9:14	9:19	9:23
藤沢湘南台病院	12:55	13:00	13:04	13:09	13:13
藤沢湘南台病院	●	●	●	●	●

アトピー性皮膚炎について

アトピー性皮膚炎とは

かゆみのある湿疹を慢性的に繰り返すアレルギー疾患のひとつです。厚生労働省の調査では2008年の約35万人から2017年には約51万人と増加してきて身近な疾患といえます。とくに最近では高齢者の発症も増えていて若年者よりも治りづらいことが問題となっています。

その原因はまだ明らかではありませんが、もともとアレルギーを起こしやすい体質の方や皮膚バリア機能が弱い方に多く見られます。外からの刺激やアレルギーに対するバリアが弱く、免疫が過剰に反応して必要のない炎症が起きると考えられています。

複数の悪化要因も知られていて、代表的なものにアレルギー（ハウ

スタスト、ダニ、細菌、カビ、食物）、乾燥、汗、ストレス、紫外線、掻き癖などがあげられます。これらを問診や血液検査で検索して治療に反映させていきます。

アトピー性皮膚炎の治療

治療の基本はバリア機能を補う「保湿剤」と炎症を抑える「ステロイド」などの外用剤です。長らくのあいだステロイドが主流となっていて、アトピー性皮膚炎の治療薬といえばステロイドを思い浮かべる方も多いと思われます。

現在はステロイド以外にもタクロリムス軟膏やJAK阻害薬、さらには今後販売されるPDE4阻害薬など外用治療の選択肢が広がっており、症状の程度に応じて適切な

治療を組み合わせさせていただきます。

さらに症状がひどい時には外用剤の塗り方や基礎的な知識を習熟するための短期間の教育入院も行っています。

外用療法でなかなか効果が得られない場合は内服薬や注射薬に

よる全身療法の適応となります。全身療法も進化していて光線療法、シクロスポリンやJAK阻害薬な



藤沢湘南台病院 皮膚科部長 磯田 祐士

外用療法	全身療法
保湿剤	生物学的製剤
ステロイド	ステロイド
タクロリムス	シクロスポリン
JAK阻害薬	JAK阻害薬
PDE4阻害薬	光線療法
教育入院	

表1 アトピー性皮膚炎治療

どの免疫抑制剤、生物学的製剤を用いる新しい治療まで重症度に応じて選択していきます。(▼表1)

デュピクセント®

2018年に登場したアトピー性皮膚炎治療薬としては初の生物学的製剤（生物から産生されるタンパク質などを応用して作られた薬剤）です。(▼図1)



図1 デュピクセント製剤

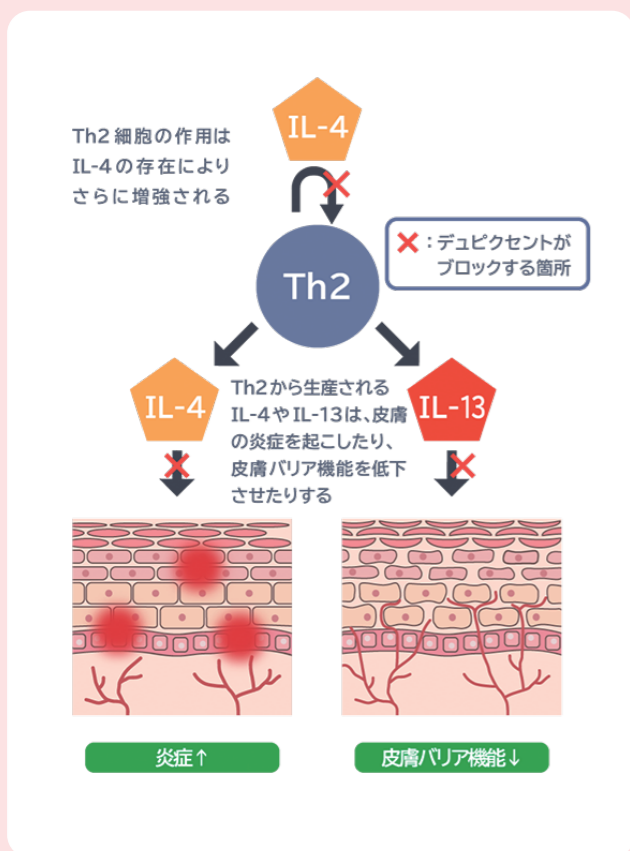


図2 デュピクセント作用のしくみ

当院での診療



アトピー性皮膚炎の診療でよく聞く不満は「ステロイド外用薬を処方されるだけで一時的に良くなったけどどうせ治らない」というものです。

患者と医師の間に意識のギャップが生まれやすい疾患ではありますが、当院では共通の治療目標を設定して信頼関係を築きながら診療することを心がけております。

またデュピクセント以降も続々と新薬の開発が進んでいて今後の明るい兆しが見えてきています。積極的に導入して一人でも多く悩みから解放されるように努めます。